

ビュウロウ  
夫人の

# フレールベル追懷錄

S K 生 譯

## 九 ヒーケ博士の來訪

或國に於ける斯の如き實際的の創始は他の國々に急速な結果を興へない筈はありません、それに就て私は獨逸が眞先に進んで行く國であらんことを望みます、獨逸に於てはこの事は既に私人の手によつて指を染められて居ります。

この種の教育改革はフレールベルの教育法の結果であると言ひ得ない、目下の教育界の狀勢によつて切に要求されて居りますのでその實現に太して時日を要する筈はありません。

私が今就て語つて居る頃(一八五一年)にはリールペンスタインの私達のサークルの中にはフレールベルの主張に對して信を置いて居る人は極めて少數でありました。而してその頃の學校當事者は直接

に實際的でない物は何でも進んで研究するなどといふことを滅多にしませんでした、それ故にヒーケの意見は一層獎勵的でありました。

婦人達は男子達に較べると改革に對しては遙かに熱心でありました、それに多分婦人達は前途に横る困難をよく理解してゐなかつた爲めでありませう。若しワイマルの公女が彼の様に早く世を去られなかつたならば公女の援助によつて第一の企圖は行はれたかも知れません、何故ならば公女はフレールベルの主張に強い興味を懷かれて居たのみならずフレールベルの説の實行に持ち來されるのを見るべく非常に熱心であられたからであります。公女をお訪ねした時丁度ヘッセン、フィリップス

シュタールの伯爵夫人が來合せて居られたことがありました、而して話は幼稚園及び幼稚園事業擴張のことに移つて行きました、伯爵夫人はこの時深く興味を起されましてフレーベルの方法を御自身の家族の教育に應用なさらうと決心されました。

伯爵夫人の小さいお孫さん、即ち現伯爵のお子さんは四歳になりますが病的であまり賢くない性質と見え發達も鈍く他の子供達のするやうな普通の遊戯をなさいませんでした。而して何時も無感覺的にボンヤリとして居られました。

私達の會話のあつた翌日、伯爵夫人はフレーベルを訪れました、而して幼稚園の實際的の仕事を詳しく知り又實際的の仕事の據つて居る原理を學んだ後伯爵夫人は當時勉學中であつた生徒の一人を學業の終り次第小公子の教育者としてフィリップスシュタールへ聘へることをフレーベルと約束しました。

フレーベルは女皇の明斷を非常に欣んで居りました、而してこれが元となつて社會の上流階級に彼の方法が廣く認めらるゝことを望んで居りました。

ヒークが私と共にマリエンタルへ行つた日、午後例の問題に就て長い議論をした後フレーベルは心配のためでしたか疲勞のためでしたか平常と比較べて分り難い物の言ひ方をして居りました、けれども彼の方法の實際的適用に就ての説明は充分ヒークに認められました、尤もそれは彼の教育學の本領からは離れて居るものでありました、それで基本の原理が意見の中に現れかけて來ると相互理解は幾分か破壊されました、而してヒークはフレーベルの所説に嫌らなくなりました、同時にフレーベルは益々それをよく説明することが困難になりました。

リーベンスタインへの歸途に於てヒークはフレーベルの教育法の哲學的基礎が彼には満足出來な

いと言ひました、ヒークは殊に或る一點即ちフレールが立つて居るらしく見えた子供は生れながらにして必ず善良な性癖を有して居るといふ假定に賛成が出来なかつたに違ひありません。

私ははつきりとこの事を否定しました、けれども私は斯る誤解がフレールの爲したやうな敘述から起つて來るのは當然であるといふことを認めなければなりません。私は次のやうな言葉でフレールの主意を彼に告げやうと試みました。

「人類の性癖は自から發達してあらゆる方面に於て善良にして且つ完全なるもの——神の姿となるやうに神意によつて定められて居ります、それ故に是等の性癖は、結局邪惡であらう筈がありません、何故ならば是等の性癖はこの天命を實現すべく、神によつて與へられて居るものだからであります。

フレールはその著「人間教育」の中で次のやうなことを言つて居ります。

それ自身に於て、惡なる性質といふものは、若し吾人が限りあるもの、形あるもの、果敢なきものを惡なる性質の本性及び結果に於ける惡であると考へないかぎり、人間の内に發見することは出来ないものである、是等はその必然の根底を人間の豫定の目的に於て意識ある理性と自由にまで持つて居る。人間は善良となるべく正直となるべく有徳となるべく間違をも爲し得なければならぬ。自決及び自由を以て神聖なるもの及び永久なるものを制定しやうとする人は誰でも有限な現世のことを爲すべく許されてあらねばならぬ。神が有限の内に自分自身を知らしめやうと望まれた故にこれは有限に於て爲されなければならぬ。一時的であるすべてのもの、個人的であるすべてのもの、それ自身に於て有形の惡であるすべてのものを求める人は誰でも自然そのもの、被造物を蔑視するものである。即ち約言すればその人は或る特殊な意味に

於て神を冒瀆するものである。

私は附加へて言ひました。合理的存在として彼自身を發達させるために人々に必然的に與へられて居る意志の自由が移り氣や間違によつて人々の力の正則な發達を妨止しましたので人々はこれによつて神の法則とは反對な不法の路に導かれ人間の墮落にまで連れて行かれたのであります。」

フレーベルが如何に深く教育に於けるこの事實を考察したかといふことは彼の「母と愛子の歌」に於ける一例からも看取することが出來ます、彼はこの歌の本で避け難き事實として子供の墮落に言及し健全な經驗としてその適用を指示して居りません。

フレーベルは正當な尋常な發達の仕方から乖離して行くといふことは人間の性癖の本性に影響變化を及ぼして來たに違ひなく又今も現に影響變化を及ぼしつゝあるといふことを決して否定しません。

是等の結果は動物や植物の世界に於ても見られます、注意や修練の缺乏といふことは高等な家畜例へば馬の如きに於てさへ劣等な後繼を生せしむる原因となります。又培養を怠るときは草木も完全な果實を附けません。而して遂には種子の退化に赴くのであります。けれども之に反して適當な注意と修練とは動物界及び植物界の種子を改良し向上させ惡化したるものを元通りに直します。

フレーベルは教育者が子供を善且つ純なるものとして（少くもこれ等と反對な性質が現はれるまでは）取扱ふべきであると要求して居ります、何故ならば最初の過疵若しくは個的の墮落が両親や祖先から種々の性質を受け繼いで來る居る子供に於て及び私達が罪惡と呼ぶ所の誤謬の諸形式の起つて來る種々なる結合に於て現れて來るのは何時であるかといふことを誰も知ることが出來ないからであります。生得の性癖も亦子供を取巻いてゐてその發育教化に有益若しくは有害である所の感

化によつて矢張同じ様に變化させられ形造られま  
す性癖それ自身は孰方の方向にも發達しない前は  
善でもなければ惡でもありません——性癖は事情  
によつては善にもなり惡にもなる所の種子であり  
ます。すべての子供の兩親や祖先によつて幾分惡  
くされて居る所の神によつて定められた善に向つ  
ての性癖があります、而してこれは種々なる變形  
を以て丁度體質の虛弱、病氣に罹り易い傾向が遺  
傳せらると同じやうに子孫に遺傳せらるゝのであ  
ります。遺傳せられた缺點には精神的のものと肉  
體的のものがあります、けれども是等の缺點弱  
點にも尙且善良健全なる性質が發見せられます、  
遺傳せられた罪の傾向にも人類に於ては遺傳せら  
れた徳の傾向が見出されます。

しかしながら今茲に罪ある家族が誤用せられた  
力と性癖との遺傳を示すといつた所で直ちに犯罪  
人の子供は皆その兩親の足跡を踏んで行くもので  
あると推斷してはなりません、之を善良な道德的

の雰圍氣の中に置いてよく教育したならば犯罪人  
の子供と雖も高尚な有用な人間となり得るであり  
ませう。極惡の家庭に育つた子供でもその眼に一  
寸見入るならば私達は人類の常に靈的に更生せん  
とする力を疑はなくなるであります、若しさう  
でなかつたならば贖罪といふ基督教の思想は意味  
を爲さないことゝなります。

すべての時代によつて従つてすべての時代の各  
個人によつて承認せられた進歩的の教養は個人が  
否個々の國民が數千歩も後れて居るに係らず漸次  
人の惡を絶滅して行くに違ひありません。而して  
罪惡によつて損れてゐた性癖はその原始の清淨  
に於て高められ回復せさせられるに違ひありませ  
ん。

この事は地上に於て如何なる程度まで可能であ  
るか、神によつて定められた惡よりの究極の實際  
的の請戻しと地上に於ける人類の可能的の完全と  
が成就せらるゝために如何なる歴史的の行爲と神

の啓示とがこの目的のために今まで働いて来たか  
又未來に於て働くであらうかといふことは他の問  
題でありましてこの問題の解決は基督教的見地に  
於ては否定されたり危ぶまれたりすることはあり  
ません。すべての深遠な思想を否定する現代の生  
嘯り説にはフレーベルは少しも關與しませんでし  
た、若し基督教思想の深奥の核を掴みその恒久の  
眞理に參した人があるとしたならばそれはフレー  
ベルであります。彼は或る論說の中で次のやうに  
言つて居ります、「神と人との關係は基督教によつ  
て確然として餘蘊なく永久に決定せられて居る」  
基督教のこの恒久の眞理が未だ極めて少數のもの  
にしか知られてゐないために、多くの世紀の無數  
の誤解によつて隠されてゐたために、而して神が  
私達の信仰の内容が明かにせらるゝことを望まれ  
る故に救ひの新しい手段がその目的のためにこの  
世に現れなければなりません、眞に人類の本性に  
適合する善き教育がこの救ひの手段に屬するとい

ふことは論ずるまでもありません、特に——フレ  
ーベルの場合の如く——人類進展の法則が認知せ  
られ適用される時に於てはさうであります。フレ  
ーベルは正路から離れることの危険と最初の發育  
に於て人の性質はねぢけたものとなされ得ること  
を認めて居りましたので彼は極めて幼い子供の教  
育を最も重要であると考へました、若し子供とい  
ふものが完全に善且つ純なる性癖を以てこの世に  
生れ出で來さへするならば幼時の教育的感化とい  
ふことは不必要になつて了ふのであります。教育  
は餘計なものとなつて了ふのであります、何故な  
らば人間の性癖や力はその時こそその本性に従つ  
て自發的に精確に進展して行くでありますか  
ら。

けれどもフレーベルに據ると子供のよき性癖と  
いふものは罪も惡も存在してゐないのに殊更これ  
を存在すると考へることによつて容易く善の反對  
となるといふ危険に處るものであります、例へば

子供の心になく不信實を想像する如きことであります。茲に於て子供は時至らずその反對がはつきりと現れる前にその無邪氣を奪はれるのであります。フレーベルは教育者が子供の善と純とを認め試験的に進み子供を目するに小悪魔を以てしないやうにと要求します。

神學的哲學的研究及び深き真理を知らんとし、ての調査の意義と重要とを否定しないかぎりは子供と遮民の直接實際の教育に關してはこれまで少しく得る所があつたといふことは認められなければなりません。

言葉のみを以て現された真理は道德的な人を作るべく充分ではありません、結果として生ずべき自由な道德的な行爲を保證するには道德的の練習が必要であります、是等の道德的練習の活用は目下の教育法では不充分であります、フレーベルは是等のことを紹介すること及び行爲と創造とを教育といふ言葉の代用とすることを望んで居ります。

す。

現代の意識なき存在の内にも勢力を及ぼして居る理性を發見せんとする努力、人間と自然及び人間に從屬する諸機關との關係を發見し樹立しやうとする努力は確かに神によつて意志された發達の或る點を示します、而して人が長い間自然から隔離してゐたことに向つて人道を補ふべく役立つであります。

フレーベルは實在の事物(神の作つたもの)の智識に彼の出發點を取つて居ましたので彼は矢張同じ方向に進んで行きました。彼は言葉に於ける真理と言葉(教義)を通じての真理とは一つの啓示が他の啓示を確定する(啓示はすべて神に於て共通の起原を持つて居りますから斯うなくてはならないのであります)時に於てのみ於明かなる光に浴し従つて於深く理解されることが出来るといふことを深く信じて斯く行つたのであります。フレーベルのよくいふ「自然の子」として人類の深い智

識は育つて行かうとする悪を發見して之と戰ふには最も善き手段であります、何故ならばこの惡といふものは人の現世的存在の中に在つて精神的存在の中にはないからであります。

フレーベルは確かに哲學體系などは樹立しませんでした、少くも言葉に於て斯るものを作りませんでした、けれども深き哲學的宗教的世界觀は彼の「人間教育」の基礎に横つて居ります又幾分かは、人間の心の思想を物質界(神の世界)に於けるその起原にまで連れ戻つてそのシンボルを供給する所の、彼の教育の手段の中にも具象せられて居ります。

現存の哲學諸體系の出發點とは異つた出發點を有して居るにも係らずフレーベルはそれがために諸體系を敵視して居るものではありません、少くも有神論の立場に立つといふ點に於ては決して相容れないものではありませんでした。彼は出發點を異にして居るにも係らず特に多くの點に於て哲

學者クローゼの意見と一致して居ります。

純なる人間の本性の智識によつて(事實に於てこの智識は衰へ且つ不分明であるにも係らず)彼は基督教に於けるこの純なる人間の本性の表現と充分に一致する實際的教育に向つての正しい目標を樹立したいと望んで居ります、斯くして出来るならばこれを無意識の時代に於ける若しくは幼兒期の本能的人間生活の間に起る誤謬から保護したいと望んで居ります。

教育の新體系の是等の根本原理及びこれに相當する實際的手段はフレーベルによつて興へられました。是等の基礎の上に彼の智的後繼者等は現在の惡求に應ずべく建て足して行くことが出來ます人の一生は多くのことを爲すに充分ではありません。この問題は於廣き<sup>あち</sup>一般的の宇宙觀を得んとする現在の智的努力が満足な結果を得るまでは充分に解決せられないであります、その間に於てフレーベルの思想の意義がフレーベルの祖述者等の



註釋に於ては、なくそれ自身に於て及びその更に進みたる進展に於て求められることは非常に重要であります。

ヒークとの長い會話が濟んだ時、彼はフレーベルの「人間教育」を研究しその主張を熟知して丁ふまでは自分の判断を中止するといふ約束をしました、同時に彼は彼が實際的手段と充分一致して居ることを示しました。

彼がリーベンスタインに滞在してゐたのは短い間でありましたのでその時これ以上に深く立入つて調べることは出来なかつたのであります、グリーフスワルドの高等學校の校長として彼の新しい地位の受容が彼を招き去りました、而して長い間の彼の全活動を要求しました。尙その他彼の生涯の短かつたことはその主張を更に深く研究することを彼に得せしめませんでした。若しさうでなかつたならばこの深刻な心がフレーベルの主張の愉快な印象を受けた後に於て、正當な判断を著書とな

して殘して行かなかつたといふことは不可思議なことゝなるでせう、尤も職業への専心や反對の方へ引張つて行く興味のために或る主題の包括的な視察をすることの出来ない場合には生々した熱心な同情も遂には失はれて行くといふ例も尠くはありません。

フレーベルの著作の一樣に入念であることは、兎に角種々な仕事を法外に重荷づけられて居る諸専門家に取つてフレーベル教育法の研究を容易ならしめたであります、而して彼等がそれを理解すべく非常な助けとなつたのであります。

